

分析化学 (Analytical Chemistry)

担当教員名:教授 櫻井 弘、准教授 安井 裕之

【概要】

分析 (analysis) とは、「ある物事を分解してそれを成立させるすべての成分・要素・側面を明らかにする」ことを意味する。薬学の領域において、医薬品や生体内化合物を含めた種々の物質の性質を理解するための最初のステップは、分析化学から始まると言える。この講義では、「分析とは何か?」「分析化学は社会にどのように役立ちうるのか?」を考えることから始める。次に、薬学における分析化学の中で最も重要で基本的な位置を占める溶液内における化学反応を、日常の体験と照らし合わせながらやさしく解説する。また、これに並行して薬学領域の分析に関する基礎と技術的方法論も講義する。

【授業の一般目標】

薬学領域における分析化学の基本的な考え方をしっかり身につけ、その考え方を応用できる能力を養う。

【成績評価方法・基準】受講態度、毎回のミニテストおよび定期試験で総合的に評価する。